

こども・教育分野に重点 平成29年度市の決算見込み

平成29年度は、「こども」「健康」「安全・安心」を重点テーマに位置付け、予算配分をいたしました。一般会計では、市民税は増収となったものの、地方交付税が減収となりました。歳入総額は前年度と比較して減少する一方、摂津小学校の工事やデジタル防災行政無線の整備に加え、超高齢社会に対応するための扶助費が年々増加している中、可能な限り経費削減を行い、必要な行政サービスを行えるよう健全で安定した財政運営に努めてきました。※決算は市議会にて認定後、確定となります。(担当：財政課)

企業会計

民間企業と同様、事業収益を上げて運営する会計

会計名	収入 (前年度比)	支出 (前年度比)
水道事業会計	22億789万円 (0.7%増)	18億7,065万円 (0.5%減)
下水道事業会計	40億44万円	38億3,181万円
合計	62億833万円	57億246万円

※いずれも収益的収支（経常的な事業活動に伴って発生する収益と費用の収支状況）による額

経常収支比率 100%越えに悪化

経常収支比率とは、市税などの毎年度決まって入ってくる収入で、毎年度必要とされる経費がどれだけ賄えているかを表したものです。

平成29年度、経常一般財源等総額（経常収入）は、合計191億2,154万円（9億7,478万円減）。経常経費充当一般財源等（経常経費）は、合計191億9,077万円（1億3,361万円増）。経常収支比率は100.4%（5.6%悪化）となり、経常的な経費が市税などの収入で賄えていない状態になっています。

特別会計

特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

会計名	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)
国民健康保険特別会計	122億3,696万円 (0.7%減)	117億85万円 (2.2%減)
財産区財産特別会計	15億5,362万円 (0.4%増)	1億3,664万円 (133.7%増)
パートタイマー等退職金共済特別会計	946万円 (54.6%増)	946万円 (54.6%増)
介護保険特別会計	61億324万円 (10.8%増)	57億3,349万円 (9.6%増)
後期高齢者医療特別会計	10億9,024万円 (10.7%増)	10億4,597万円 (14.4%増)
合計	209億9,352万円 (3.0%増)	186億2,641万円 (2.5%増)

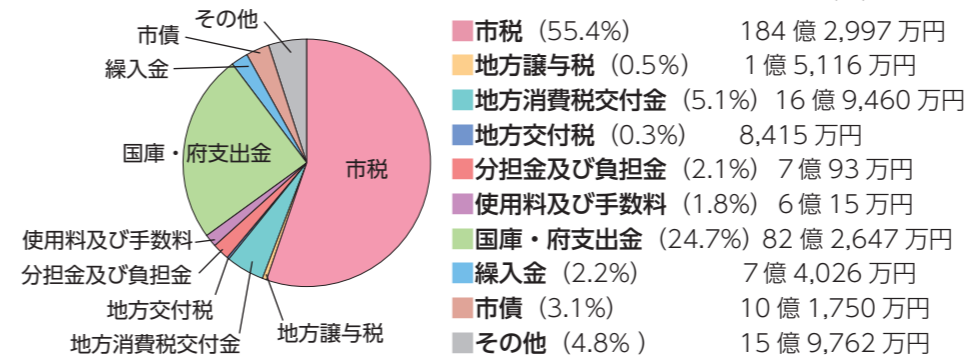
※本年度から下水道事業会計は企業会計に移行。特別会計の合計の前年度比は、両年度とも下水道事業会計を抜いて計算したものです。

➡ 特別会計では、国民健康保険特別会計においては、今年度も経営努力分に対する国・府における特別調整交付金が増加したことなどにより、実質収支が5億3,611万円となり、昨年度に続き黒字となっています。また、介護保険特別会計では、実質収支は3億6,975万円昨年度に引き続き黒字となっています。

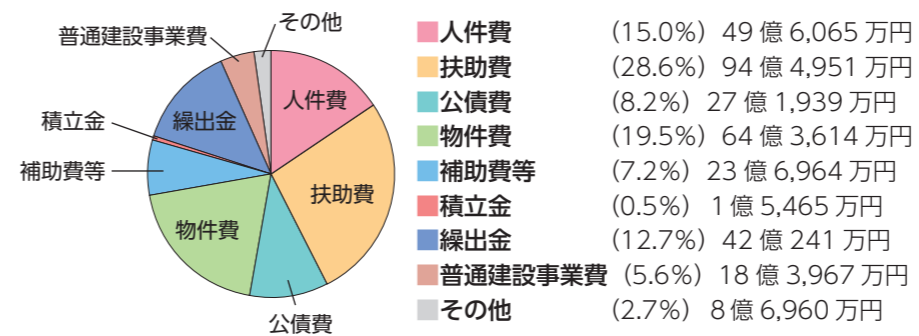
一般会計

市税などを主な財源として、行政の基本的な経費（例えば、福祉・教育・土木などに要する経費）を経理する会計です。

歳入合計 332億4,281万円【前年度比2.0%減】 ※（ ）内は割合



歳出合計 330億166万円【前年度比1.8%減】 ※（ ）内は割合

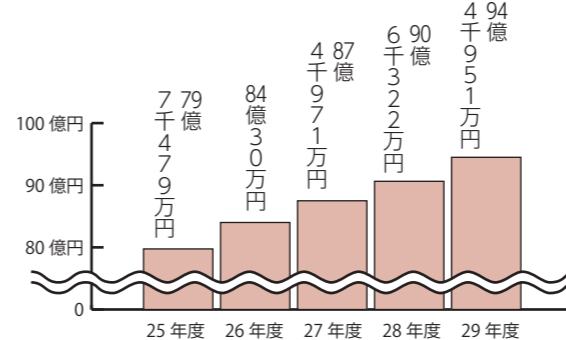


➡ 平成29年度の決算額は、歳入332億4,281万円、歳出330億166万円です。差し引き2億4,115万円から30年度に繰り越した事業の財源2,697万円を除くと、実質収支2億1,418万円の「黒字」決算となりました。歳入（収入）の55.4%占める市税は、個人市民税、法人市民税がともに増収となったものの、市税収入全体で184億2,997万円と前年度から2億5,964万円の減収となりました。

市税のみで確保できなかった財源を穴埋めするため、財政調整基金を6億5,500万円取り崩しました。

主要基金は、積み立てを行うものの取り崩しが上回ったため、昨年度末より約5億1,000万円減の約138億円となりました。

★扶助費が年々増加



高齢化の進行で、医療給付費などの扶助費は年々増加しています（左グラフ）。扶助費は今後も増加していくことが予想されますが、行財政改革を進め、効率的で持続可能な財政運営に努めていきます。

29年度に実施した主な事業

【こども・教育】

- 小学校施設改修事業（9億8,457万円）→摂津小学校舎増築と体育館改修など
- 小中学校施設運営事業（3億441万円）→洋式トイレ設置など
- 小中学校管理運営事業（1億1,427万円）
- 学力向上推進事業（947万円）
- 民間保育所等施設整備補助事業（6,680万円）

【健康・福祉】

- 地域生活支援事業（1億4,969万円）→障害者総合支援センターの整備など
- 介護予防・生活支援サービス事業（1億23万円）
- がん検診事業（2,427万円）

【安全・安心】

- 情報収集伝達体制整備事業（1億7,382万円）→防災行政無線デジタル化など
- 防災対策事業（1,426万円）→自主防災組織による防災マップ作成支援など
- LED防犯灯等防犯推進事業（2,217万円）
- 消防本部車両・資機材整備事業（8,606万円）→化学消防ポンプ車の更新など
- 阪急京都線連続立体交差事業（3,760万円）
- 千里丘三島線（東側）道路改良事業（2,471万円）



▲増築した摂津小校舎



▲がん検診



▲化学消防ポンプ車